

令和5年度 志木市立志木小学校 学校経営方針

I 学校経営方針の全体像

1 基本理念

元気・生き生き輝く学校
「意欲的に学び・あいさつ・思いやりを育む教育活動」

2 学校地域教育目標

- 明るくあいさつできる子
- 思いやりのある子
- 地域を大切にする子
- 意欲的に学ぶ子

3 目指す学校像

明るいあいさつあふれる学校
保護者・地域の信頼に応える学社融合の学校

4 目指す児童像

自ら学び 心豊かな子

- ・自ら考え、主体的に学習に取り組む子（知）
- ・相手意識を持って、自己表現できる子（徳）
- ・自己指導能力を高め、成長しようとする子（体）

5 目指す教師像

学び実践する教職員

- ・子供の姿を大事にしながら、指導力を磨き続ける教職員（人間性）
- ・互いに切磋琢磨し、横の連携を重んじる教職員（同僚性）
- ・児童、保護者、地域の方から信頼される教職員（自律性）

II 学校経営の基本方針

教職員の自律を促し、従前主義や前年踏襲に捉われることなく不断の改革を目指す。児童・保護者・地域から信頼される教育活動を展開し、これまでの伝統を引き継ぎながら、教育の専門集団である組織（チーム）の力を最大限に活かして、一步前進した志木小を築く。

柱Ⅰ： 変わる勇気と変える覚悟

「不易と流行」という言葉があるが、これからの変化の激しい時代を生き抜く子供たちの教育を担うのが私たち教職員である。そこで、これまでの成果を継承するとともに、教職員一人一人が学校参画意識を高め、従前主義や前年踏襲を退歩と捉え、校務分掌等で「工夫・改善」に取り組む。組織的・継続的にPDCAマネジメントサイクルに取り組み、一歩前進を目指す。

柱Ⅱ： 豊かな学びで未来を開く

子供を育てる4つのステップ

「自覚」…自分でできるか？できないか？ 自分でやるべきことなのか？

「自信」…自分でできた。もっとできるかも！

「自主」…自分でやってみよう。自分で探究してみよう。

「自律」…自分で実践、実行する。（自らの規範に従って行動）

で主体性を育む教育活動を展開する。生活の場面や学習の場面で自己決定できる児童の育成を大切にする。探究する学習活動（①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現）を通して、児童の非認知能力を伸ばす教育活動を展開する。

柱Ⅲ： チーム志木小

「報告・連絡・相談・確認」のもと、何事にも組織で対応し、同僚性を意識しながら、「チーム志木小」の自覚を持って行動する。教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質向上に努め、児童・保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。

柱Ⅳ： 学びにふさわしい学習環境

児童が安心して学べる安全で清潔な教育環境の点検及び整備に取り組む。授業規律の徹底、あいさつと返事の励行、しっかり話を聞くこと、「チャイムで始まりチャイムで終わる」授業に取り組む。学社融合の教育環境（人的・物的）の有効活用を促進する。「いじめは起きるものである」ということを念頭に置き、「いじめ見逃し0」を生徒指導の根幹に据え、いじめの早期発見・早期対応を徹底し、組織で対応する。

柱Ⅴ： 家庭・地域・関係機関との連携

コミュニティ・スクールとして、保護者・地域の学校運営への参画や支援・協力を促進し、児童・保護者・地域が協働できる学校を目指す。学社融合の学校として、関係機関と連携を図り、特色ある充実した教育活動を推進する。令和7年度の小中一貫教育に向けて、志木中学校、志木第三小学校との連携を強化し、教育活動を推進する。